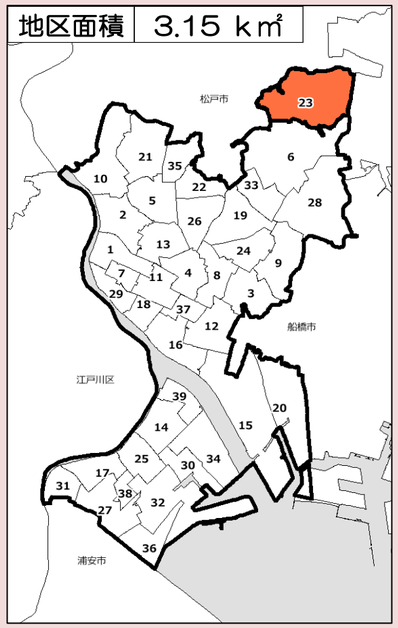
23 大町小学校区

（1）位置

地区面積	3.15 ｋ㎡



（2）地区概況

◆位置

大町小学校区は市の北部位置し、地区の北側に松戸市、東側に鎌ヶ谷市が隣接しています。

◆地形・土地利用

地形は、平坦な台地で構成されています。
地区内は、主に市街化調整区域となっており、大半が農地となっています。また、地区内の一部地域は風致地区に指定されており、風情ある落ち着いた環境となっています。

◆都市基盤

地区内の松飛台駅周辺は、土地区画整理事業により整備されています。地区の北側を東西にかけて国道464号が通っています。総合公園である大町公園があります。
また、地区の北側には北総線が通っており、北西に松飛台駅、北東に大町駅があります。地区内には、北総線大町駅、JR本八幡駅行きの京成バスが通っています。

（3）人口・建物概況

◆人口

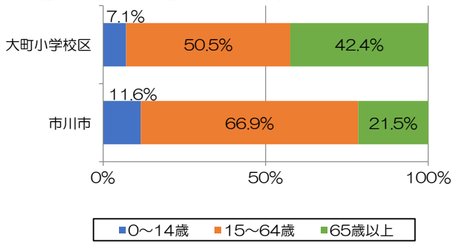
年齢別割合

	大町小学校区	市川市	割合※
人口総数	3,547人	492,564人	0.7%

※割合：市全体の総数に対する地区総数の割合

平均値	12,630人

平均値：39地区の平均値を示しています。



地区の人口は、全地区の平均人口より少ないです。市全体と比較すると65歳以上の割合が高く、高齢の世代が多い地区となっています。

◆建物

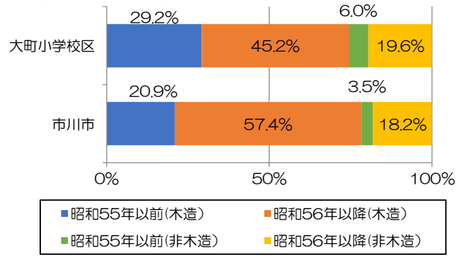
構造別割合

	大町小学校区	市川市	割合※
建物総数	1,034 棟	107,267 棟	1.0%

※割合：市全体の総数に対する地区総数の割合

平均値	2,750棟

平均値：39地区の平均値を示しています。



地区の建物は平均より少ないです。市全体と比較すると昭和56年以降の新耐震基準の建物割合が低いです。また、非木造建物がやや多い地区となっています。

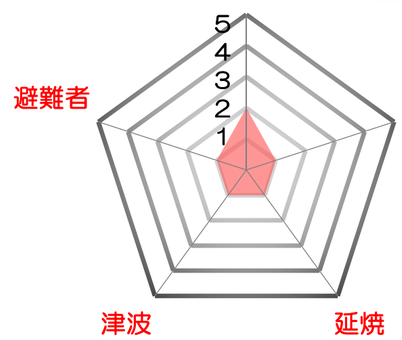
（4）災害リスク評価

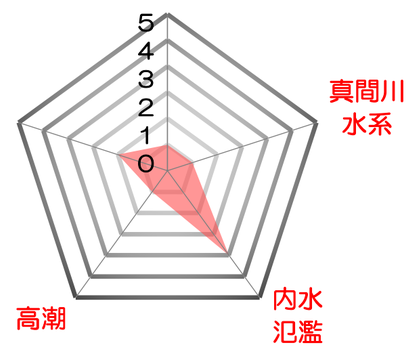
災害に対する弱み（マイナス）については、5に近づくほど危険度が高くなり、災害に対する強み（プラス面）については、5に近づくほど安全度や充足度が高くなります。災害リスクは、後述の地震被害想定や浸水想定の結果、各地区の現況データを用いて相対的に評価しています。

◆災害に対する弱み（マイナス面）

地震　　風水害

危険度　1 低 ⟷ 5 高



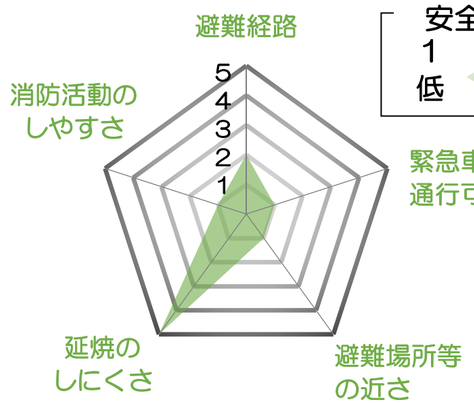


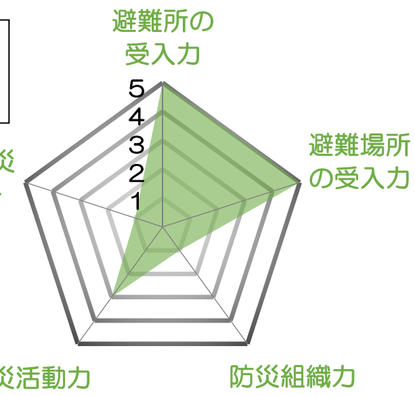
※土砂災害は地震の揺れでも発生する場合があります。

◆災害に対する強み（プラス面）

まちの安全性　　まちの防災力

安全度・充足度　1 低 ⟷ 5 高





◆評価

大町小学校区は、地震災害については、最大震度６強の揺れが予測され、揺れによる危険性があります。風水害については、平坦な土地であることから、内水氾濫による危険性があります。
一方で、まちの安全性については、延焼のしにくさは高い傾向にあるものの、避難経路、緊急車両通行可能道路の充足度、避難所場所等の近さ、消防活動のしやすさは低い傾向にあります。また、地域の防災力については、避難所の受入力、避難場所の受入力は高い傾向にあるものの、防災組織力、未来の防災リーダーは低い傾向にあります。

（5）防災関連施設

◆避難所及び福祉避難所

施設名	福祉避難所	施設名	福祉避難所
大町小学校	－		
少年自然の家	－		
やわらぎの郷	○		
太陽と緑の家	○		

◆避難場所

名称
大町小学校
少年自然の家
奥野木学園大町不二グラウンド
市川自然博物館

◆地区内の主な施設

種別	施設名	施設名	種別	施設名
要配慮者利用施設(公設)	なし		医療救護所	なし
			関連施設	なし

（6）被害想定結果（地震・風水害）

◆地震災害（被害を受ける割合）

想定項目		大町小学校区	市川市全体
建物被害	全壊棟数の割合（揺れ・液状化・急傾斜地崩壊）	2.1%	4.8%
	半壊棟数の割合（揺れ・液状化・急傾斜地崩壊）	5.9%	11.8%
	焼失棟数の割合	0.1%	10.2%
	浸水棟数（津波）の割合	0.0%	1.1%
人的被害	死者の割合	0.0%	0.1%
	負傷者の割合	0.1%	0.4%
	避難者の割合	2.5%	20.0%

◆風水害（被害を受ける割合）

想定項目		大町小学校区	市川市全体
建物被害	浸水棟数（江戸川）の割合	0.0%	52.9%
	浸水棟数（真間川）の割合	0.0%	47.7%
	浸水棟数（内水）の割合	40.3%	57.9%
	浸水棟数（高潮）の割合	0.0%	64.9%

市全体の結果と比較すると、地震災害については、新耐震基準の建物割合が低いものの、地形が台地で震度が他地区より低いこともあり、建物被害は少ない傾向となっています。また、人的被害についても、市全体より少なくなっています。
一方で、風水害については、内水氾濫による影響を受けるものの、地形が台地であることもあり、市全体と比較して浸水棟数は少なくなっています。

（7）防災上の課題

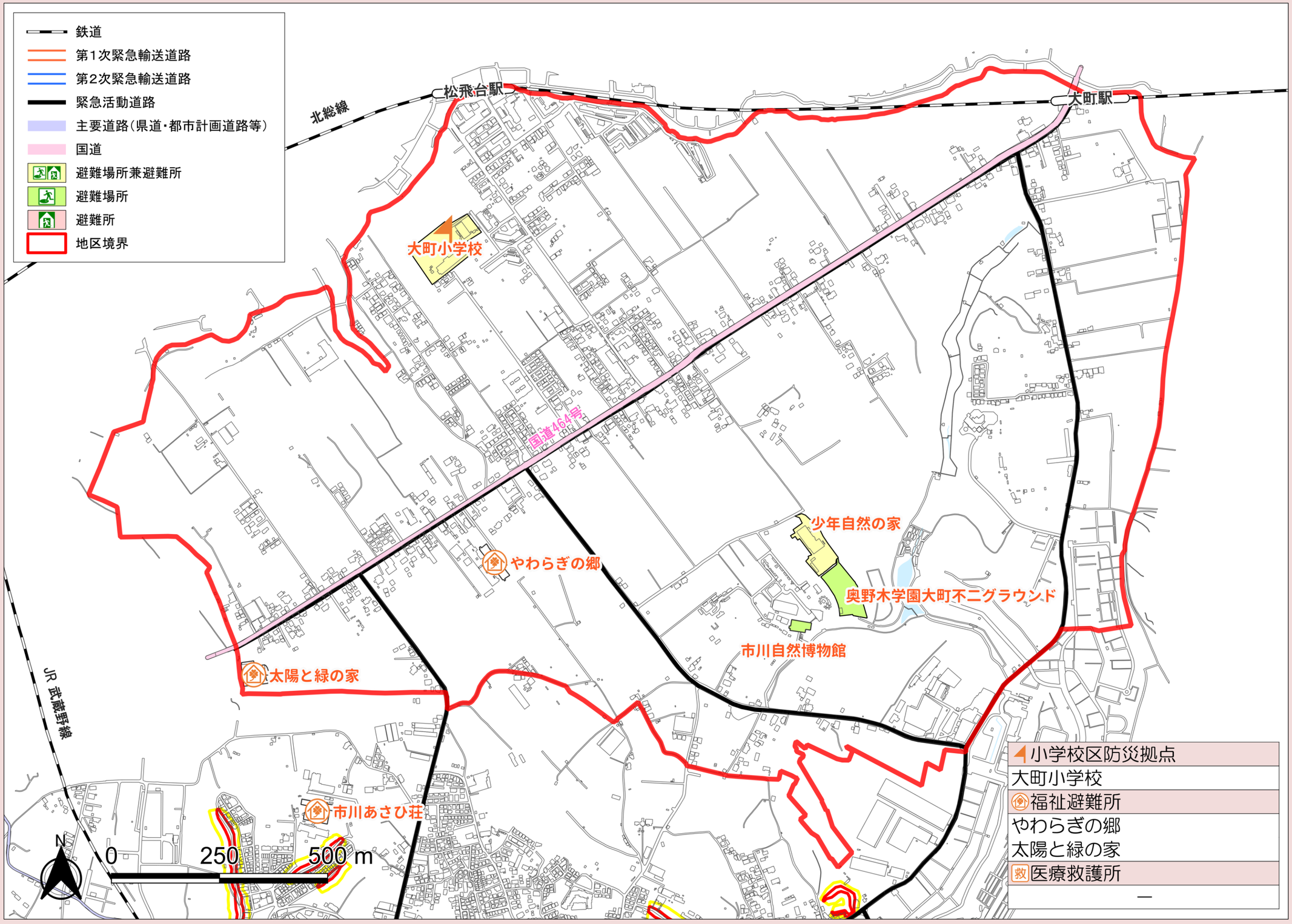
項目	課題
地震	地区のほとんどの地域で、震度６弱の揺れが予測され、全体的にやや危険性は低いですが、揺れによる危険性も十分想定されることから、耐震対策を行うことが重要です。
風水害	市全体と比較して浸水棟数は少ないものの、内水氾濫による浸水被害の恐れがあり、浸水対策が重要です。
まちの安全性	地区には、狭い道路が多いことから、避難ルートや緊急車両が通行可能な道路が重要です。また、避難場所等へ徒歩10分程度以上かかる地域が多いことから、あらかじめ避難経路について検討しておくことが重要です。さらに、消防水利の充足が低く、消火までに時間を要することが考えられ、初期消火の対策が重要です。
地域の防災力	地区には、防災組織力が低いことから、防災組織結成の促進や既存組織での訓練などの取り組みが重要です。また、未来の防災リーダーとなる人材育成を進めていくことが重要です。

（8）防災対策の方向性

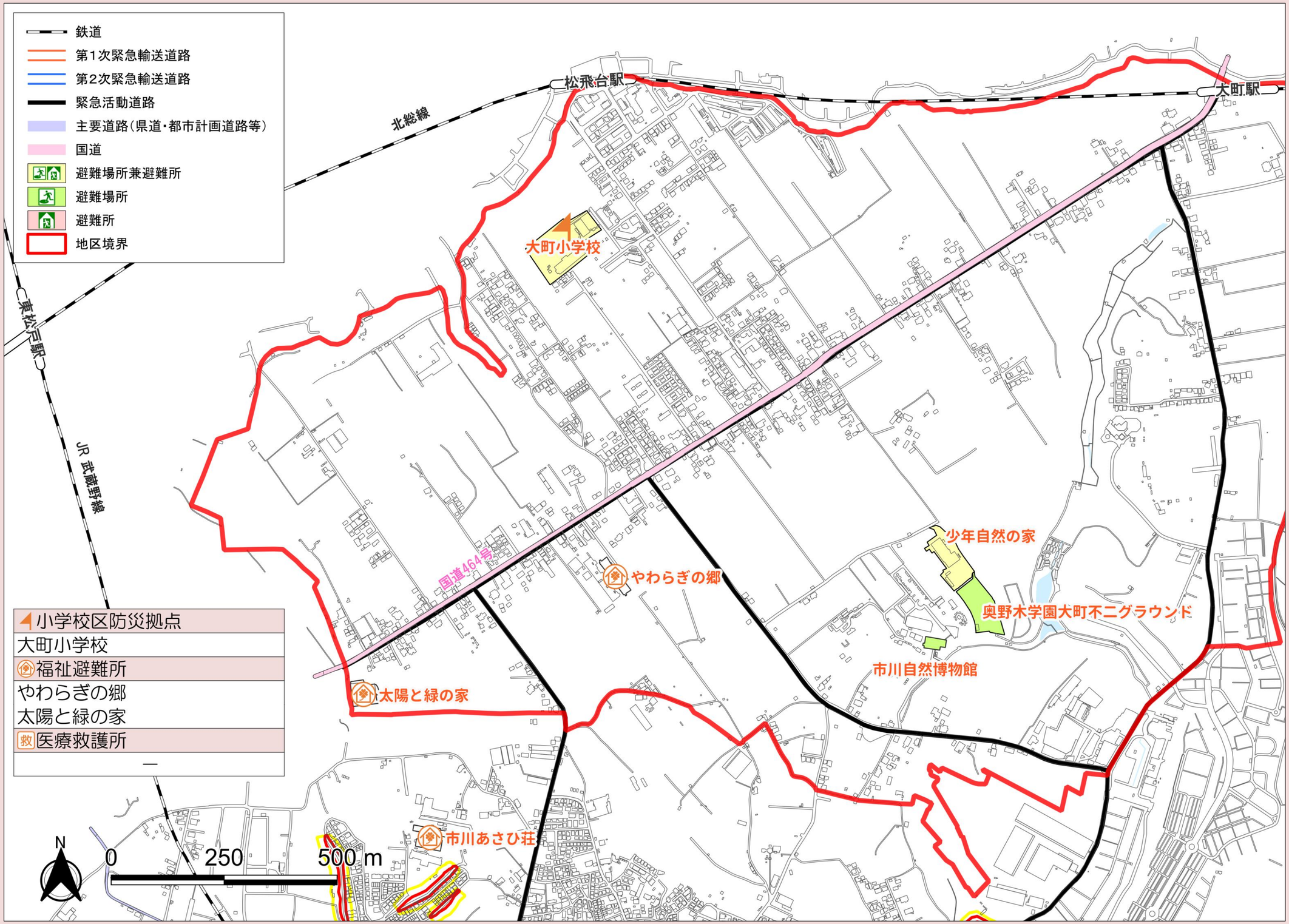
項目	取組の方向性
地域の取組	地区内には、狭い道路が多く、避難ルートや緊急車両が通行可能な道路の確保が大切であることから、市の助成制度である「危険コンクリートブロック塀等除却」や「生垣助成」の助成を利用したブロック塀等の倒壊による災害防止と、日頃から安全なルートを確認しておくことが効果的です。 消防活動のしやすさが低いことから、地域内で家庭用消化器の設置に関する呼びかけや地域ぐるみで市が開催する防災訓練への積極的な参加を行っていくことが重要です。 防災組織の結成が少ないことから、地域内で助け合うことができるよう、防災に関する組織結成を行っていく必要があります。
個人の取組	地震に対する備えとしては、家具の固定、ライフラインの途絶に備えあらかじめ飲料水等の備蓄をしておくなど自宅（家庭）の防災性を向上させることが効果的です。 消防活動のしやすさが低いことから、住宅用消火器を設置する等、初期消火等の対策を行うことが必要です。また、住宅用火災警報器の設置を行う等、火災発生時の逃げ遅れ対策を行うことが重要です。 一方、風水害に対する備えとしては、市の助成制度である「あんしん住宅助成」を利用した防水板の設置や、土のうステーション等を活用した浸水対策とともに、いざという時円滑に避難できるよう、市からの情報収集方法をあらかじめ水害ハザードマップ等で確認しておくことが効果的です。 避難経路の確保ができない可能性が考えられることから、まちあるき等を通して避難経路についてあらかじめ複数確認しておくことが必要です。

（9）防災マップ

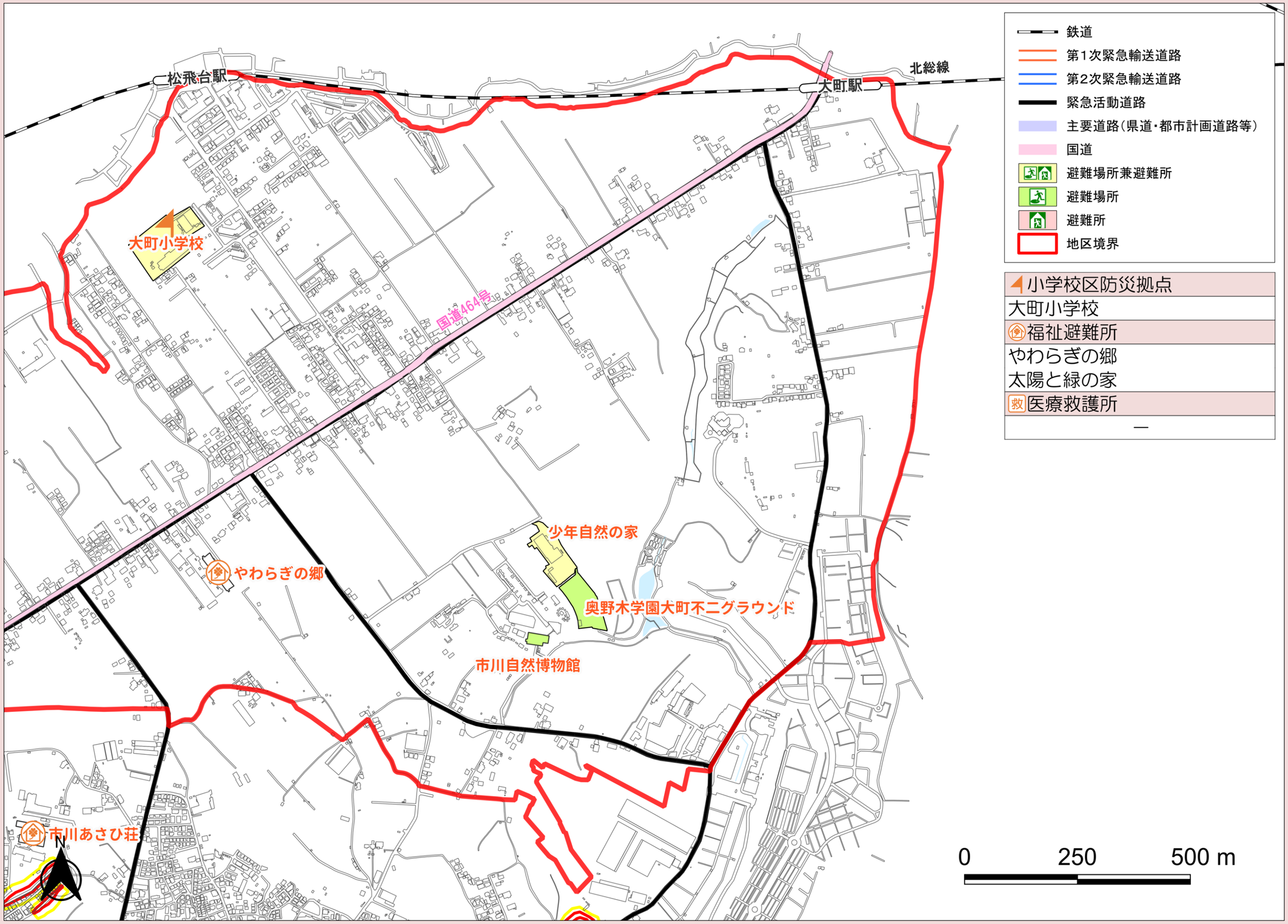
市川市防災カルテ ＜ 大町小学校区 ＞



（9）防災マップ①

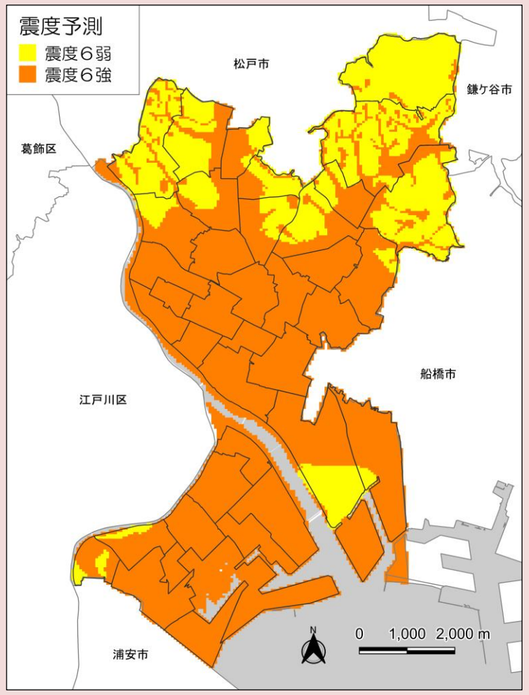

鉄道
第1次緊急輸送道路
第2次緊急輸送道路
緊急活動道路
主要道路（県道・都市計画道路等）
国道
避難場所兼避難所
避難場所
避難所
地区境界
北総線
松飛台駅
大町駅
東松戸駅
JR 武蔵野線
国道464号
大町小学校
やわらぎの郷
太陽と緑の家
市川あさひ荘
少年自然の家
奥野木学園大町不二グラウンド
市川自然博物館
小学校区防災拠点
大町小学校
福祉避難所
やわらぎの郷
太陽と緑の家
医療救護所
N
0
250
500 m

（9）防災マップ②


鉄道
第1次緊急輸送道路
第2次緊急輸送道路
緊急活動道路
主要道路（県道・都市計画道路等）
国道
避難場所兼避難所
避難場所
避難所
地区境界
小学校区防災拠点
大町小学校
福祉避難所
やわらぎの郷
太陽と緑の家
医療救護所
—
松飛台駅
大町駅
北総線
大町小学校
国道464号
少年自然の家
奥野木学園大町不二グラウンド
やわらぎの郷
市川自然博物館
市川あさひ荘
N
0
250
500 m

（１０）基礎資料

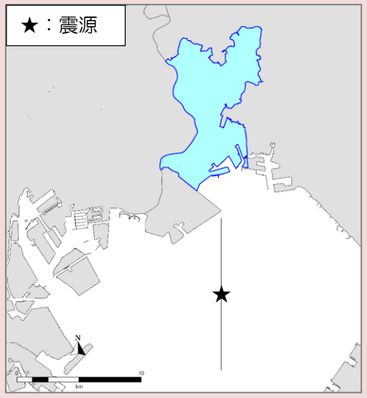
①市全域の震度分布図



本カルテには、東京湾直下を震源域とする地震が発生した場合の結果です。
震度分布図を見ると、市の南部を中心に広く震度６強と予測されています。

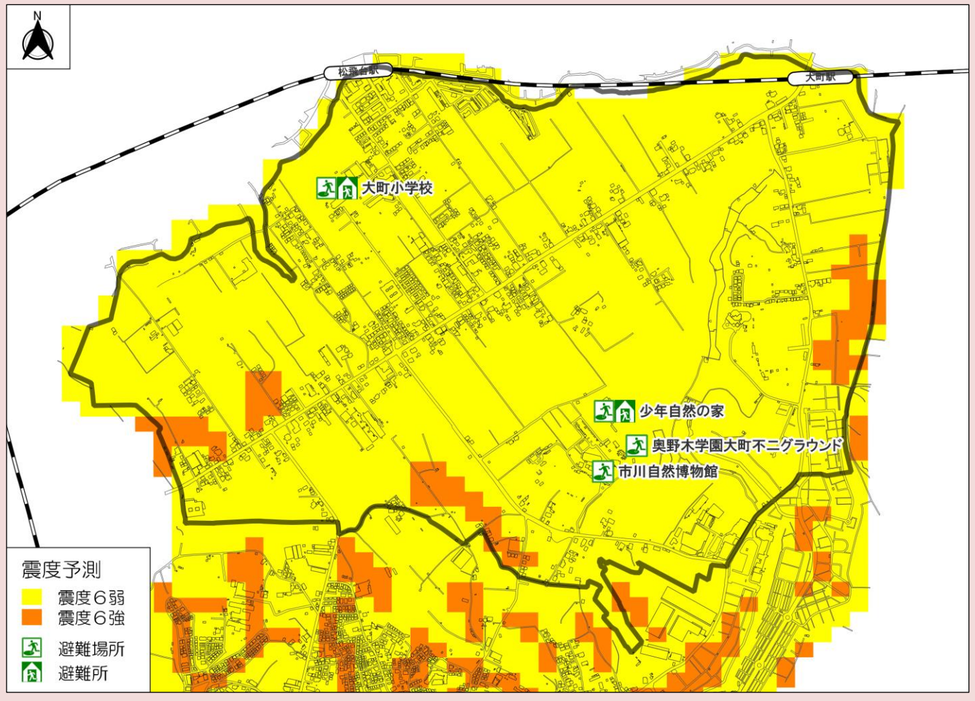
想定地震	東京湾直下地震
マグニチュード	7.3 （震源深さ：48km程度）

▼震源

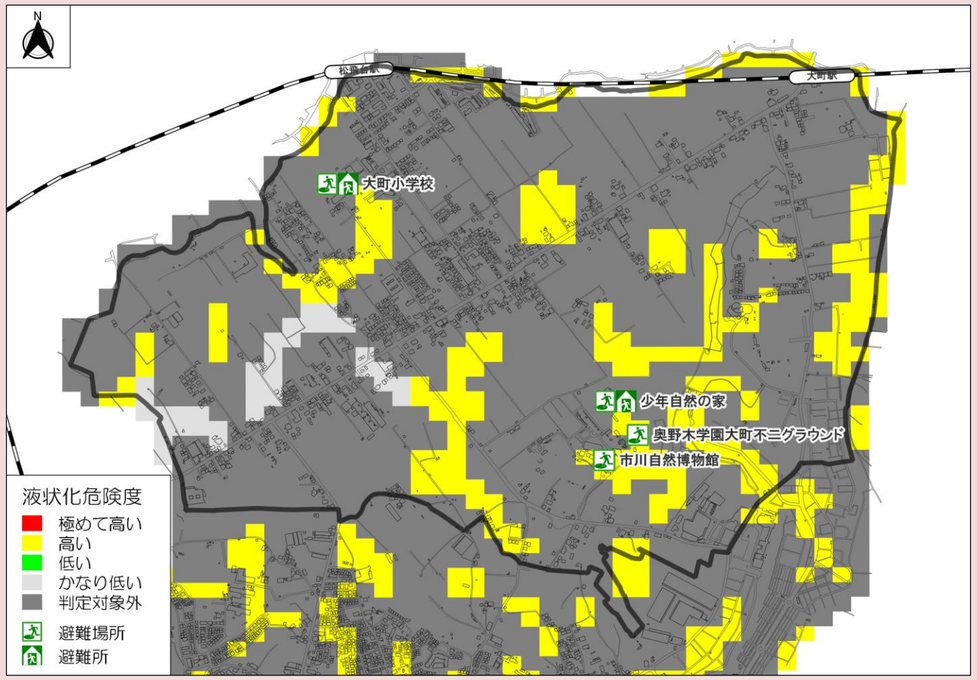


※本結果は市川市地震被害想定結果（令和５年度）に基づいています。

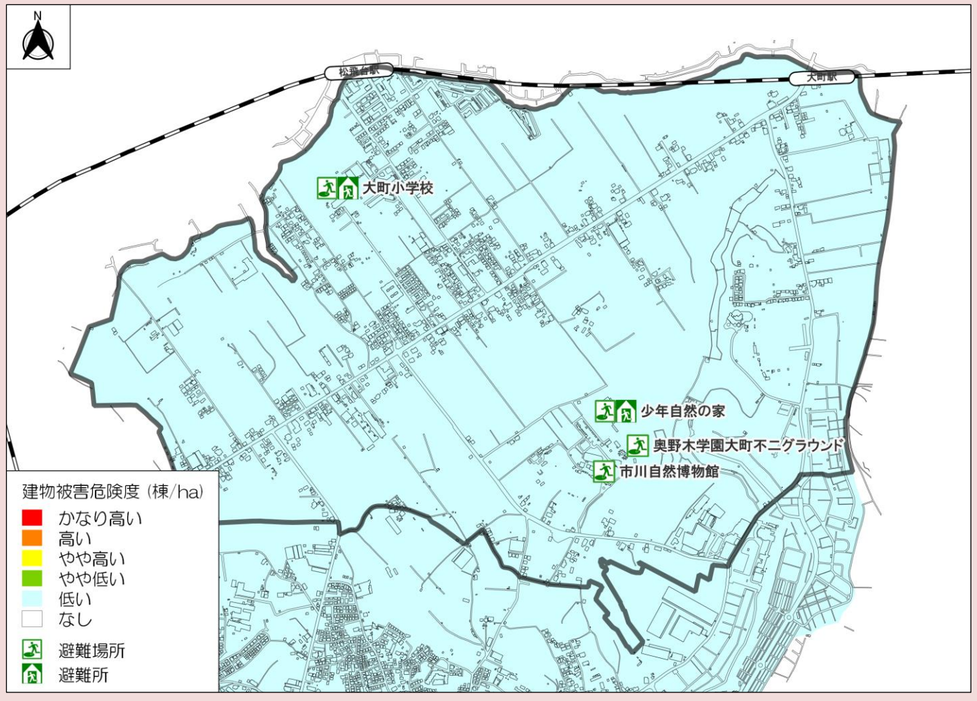
②震度分布図



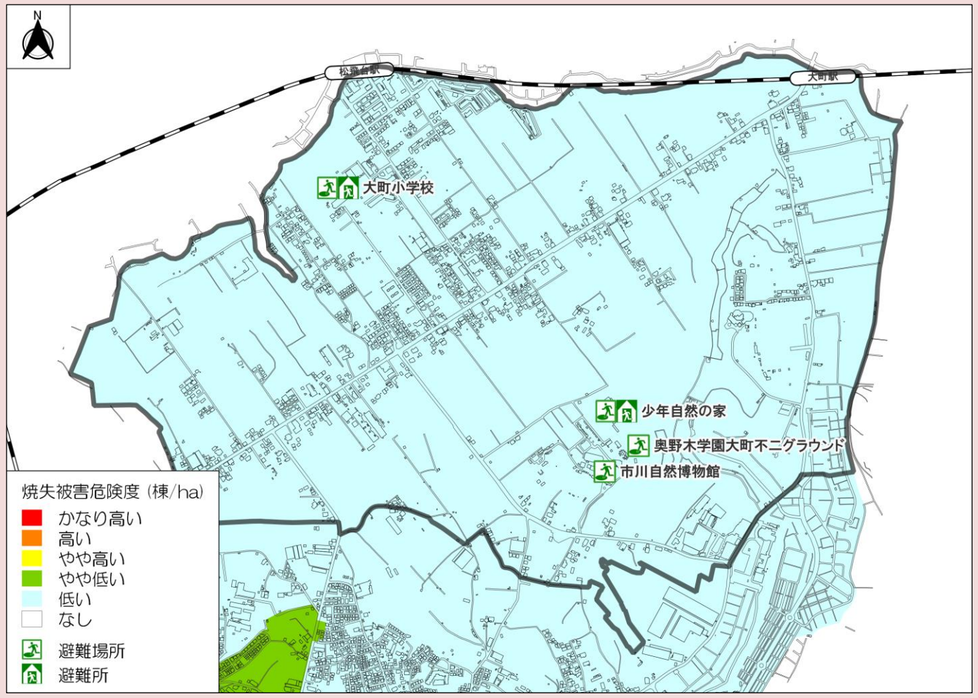
③液状化危険度



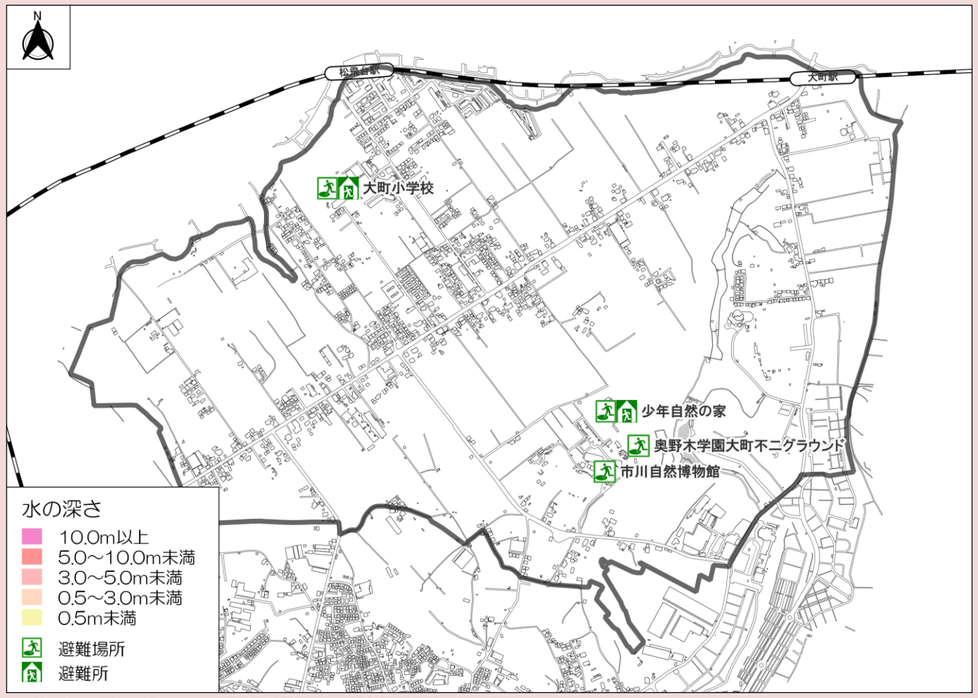
④建物被害（揺れ・液状化による被害）



⑤建物被害（延焼による被害）



⑥津波による影響



※津波の河川遡上による市街地への影響はありません。

平成24年4月：千葉県

⑦浸水想定の概要

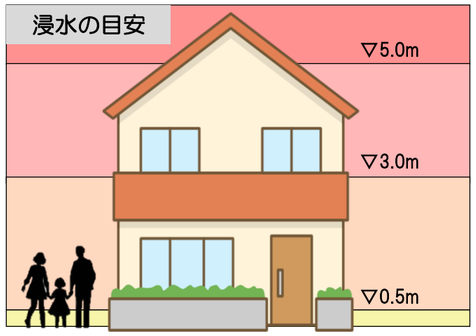
江戸川の氾濫及び真間川の氾濫、内水の氾濫、高潮による浸水想定区域を示しています。

災害時にすばやく避難できるようにあらかじめ近隣の避難所及び避難場所について確認しましょう。

また、避難経路上の浸水状況も確認しておきましょう。

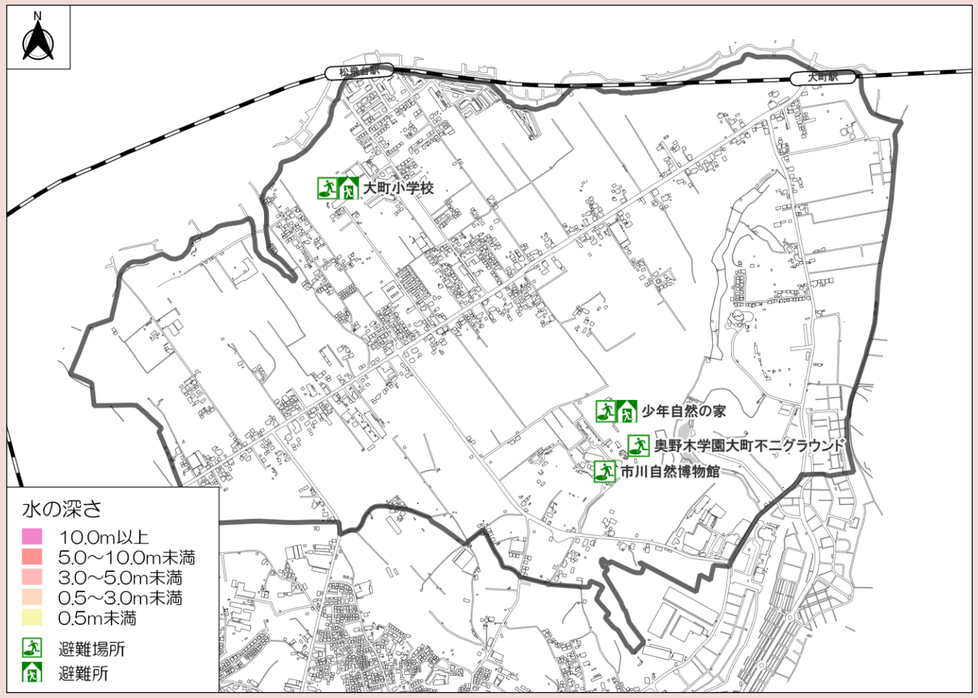
水の深さ

- 水の深さが5.0m以上
- 水の深さが3.0～5.0m未満
- 水の深さが0.5～3.0m未満
- 水の深さが0.5m未満



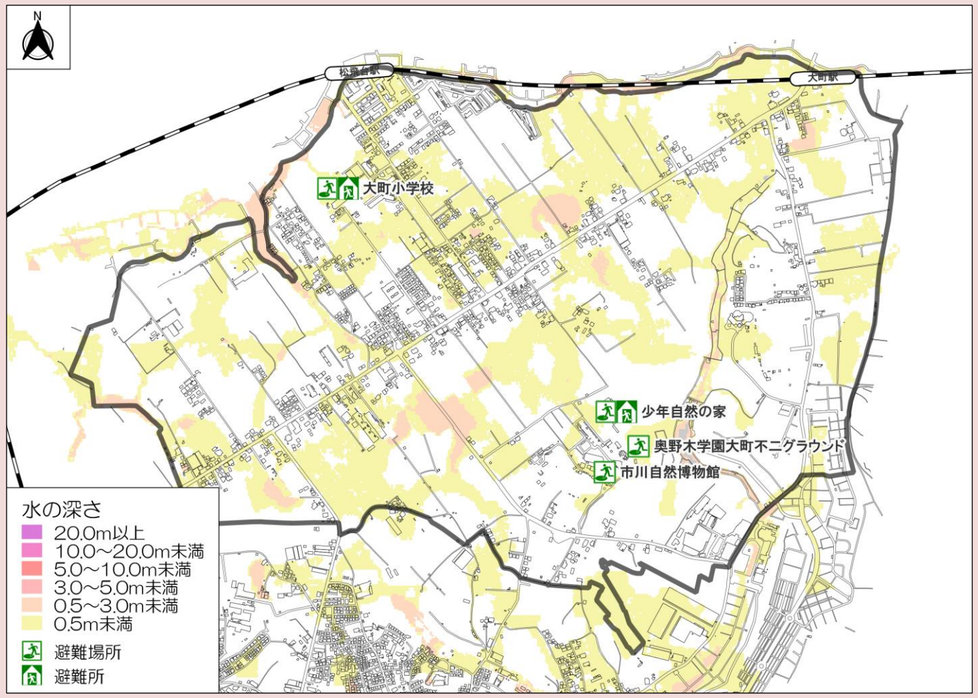
※浸水の凡例区分及び配色については市川市で任意に設定しています。

⑧洪水（江戸川）



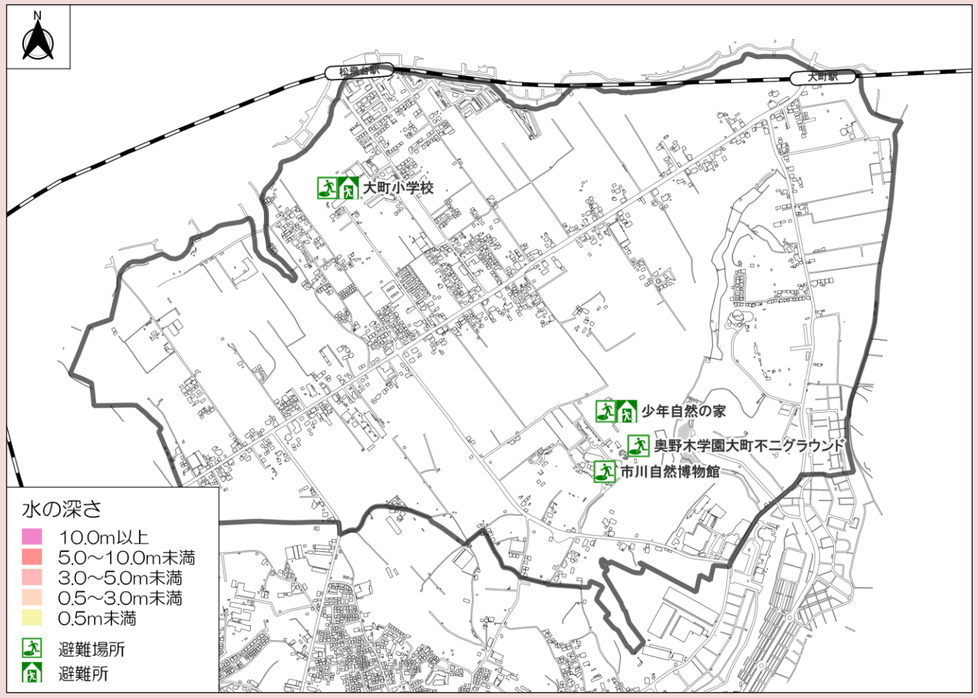
平成29年7月：国土交通省

⑨真間川水系・内水氾濫



令和元年：千葉県(真間川水系)、令和2年：市川市(内水氾濫)、令和4年：千葉県(小規模河川)

⑩高潮



平成30年11月：千葉県

◆メモ